

オルツの「LHTM-2」アセスメント参加上場企業が100社を突破

～カスタマイズ可能な大規模言語モデル（LLM）を活用した業務代替AIを構築し、真のDXの実現へ～

P.A.I.®（パーソナル人工知能）をはじめ、AIクローン技術でつくり出すパーソナルAIの開発および実用化を行う株式会社オルツ（本社：東京都港区、代表取締役：米倉 千貴、以下、オルツ）は、当社独自の大規模言語モデルである「LHTM-2」※1のアセスメントに参加した上場企業数が100社を突破したことを発表いたします。



オルツは、2021年9月、独自の大規模言語モデルの初期バージョンである「LHTM」（Large-scale Heuristic Thinking Model）※2を発表しました。その後も研究開発を続け、2023年2月には「LHTM-2」を発表しました。「LHTM-2」は、OpenAIが提供する大規模言語モデルである「GPT-3」等と同水準のパラメータ数で構成され、自然なテキストの生成および作成補助を実現します。また、カスタマイズを前提とした柔軟な設計のため、事実に基づく出力を内部的に誘導することなどが可能です。

オルツは、各業界各社内において蓄積されているデータを生成AIに学習させることで、どのようなアウトプットができ、どのような業務をAIで代替できるのかを洗い出すフェーズから、サービス・プロダクト設計、構築、運用までを一気通貫で行うことが可能です。日本社会における真のDXの実現へ向け、引き続き大規模言語モデルや生成AIを活用したサービスの開発・提供に尽力して参ります。

本アセスメントならびにLLMを活用したDXプロジェクトについては、以下のアライアンス窓口にお問い合わせください。

※1：<https://alt.ai/news/news-1892/>

※2：<https://alt.ai/news/news-1454/>

▶LHTM-2/GPT など大規模言語処理ソリューションに関するお問い合わせ先

<https://alt.ai/aiprojects/gpt/>

■株式会社オルツについて

2014年11月に設立されたオルツは、P.A.I.®（パーソナル人工知能）、AIクローンをつくり出すことによって「人の非生産的労働からの解放を目指す」ベンチャー企業です。また、AIの対話エンジンの開発から生まれた音声認識テクノロジーを活用した「[AI GIJIROKU](#)」などのSaaSプロダクトを開発・提供しています。2022年6月にシリーズDラウンドで35億円の資金調達を実施し、累計調達額は62億円に及びます。

<https://alt.ai/>

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社オルツ 広報 西澤

e-mail : press@alt.ai

<アライアンスに関するお問い合わせ先>

株式会社オルツ 新規事業開発部 國安

e-mail : new_bussines_dev@alt.ai